

ラテン語とフランス語

古典作品を素材に [24]

ブルガータ訳聖書「ダニエル書 スザンナ」より — 接続詞cum —

秋山 学

今月はブルガータ訳聖書の「ダニエル書」のうち、「旧約聖書続編」に含まれる「スザンナ」の一節からテキストを選んでみましょう。

原文 Exclāmāvit autem vōce magnā Susanna et dīxit: «Deus aeterne, quī absconditōrum es cognitor, quī nōsti omnia antequam fiant, tū scīs quoniam falsum contrā mē tulērunt testimōnium; et ecce morior, ①cum nihil hōrum fēcerim, quae istī malitiōsē composuērunt adversum mē». Exaudīvit autem Dominus vōcem eūs. ②Cumque dūcerētur ad mortem, suscitāvit Deus spīritum sanctum puerī iūniōris, cūius nōmen Daniēl; et exclāmāvit vōce magnā: «Innocēns ego sum ā sanguine hūius». Et conversus omnis populus ad eum dīxit: «Quis est iste sermō, quem tū locūtus es?». Quī ③cum stāret in mediō eōrum, ait: «Sic fatuī, filiī Israēl? Nōn iūdicantēs neque, quod vērū est, cognōscentēs, condemnāstis filiam Israēl! Revertiminī ad iūdicium, quia falsum testimōnium locūtī sunt adversum eam». — *Prophetia Danielis* 13, 42-49.

仏訳 Elle cria très haut: «Dieu éternel, toi qui connais toute chose avant qu'elle n'arrive, tu sais qu'ils ont porté sur moi un faux témoignage. Et voici que je meurs, innocente de tout ce que leur malice a forgé contre moi.» Le Seigneur l'entendit et, comme on l'emmenait à la mort, il suscita l'esprit saint d'un jeune enfant, Daniel, qui se mit à crier: «Je suis pur du sang de cette femme!». Tout le monde se retourna vers lui et on lui demanda: «Que signifient les paroles que tu as dites?» Debout au milieu de l'assemblée, il répondit: «Vous êtes donc assez fous, enfants d'Israël, pour condamner sans enquête et sans évidence une fille d'Israël? Retournez au lieu du jugement, car ces gens ont porté contre elle un faux témoignage.»

訳 そこで、スザンナは大声を挙げて叫び、こう言った。永遠なる神、隠された事どもを知っておられ、万物が成る以前からご存じの方よ、あなたは、彼らがわたしに対して偽りの証言をしたことをご存じです。ご覧ください、わたしはあの人々が、わたしに不利になるよう、悪意をもって

でっち上げた事どもを何一つしておりませんが、死んでゆくのです。けれども主は、彼女の声を聞き届けられた。そして彼女が死へと引いて行かれるとき、神は、その名をダニエルという、とても若い少年の聖なる霊を呼び覚まされた。ダニエルは大声を挙げてこう叫んだ。「わたしは、この人の血に関して罪がない」。そこで人々は皆、彼の方を向いてこう言った。「あなたが言ったその言葉は、いったいどういう意味なのか?」。ダニエルは人々の中央に立つと、こう言った。「イスラエルの子らよ、あなた方はこれほどまでに愚かなのか? あなた方は正しい裁きをせず、真実である事柄をよく認識もせずに、イスラエルの娘を断罪したのだ。正しい裁きに立ち返るがよい、なぜならあの者たちは、彼女に不利になるよう偽りの証言をしたのだから」。

「ダニエル書」は、聖書本文学の上で複雑な問題を含んでいます。ユダヤ教で正典とされる部分（第一正典：1-12章）には、ヘブライ語で原文が記された部分以外に、アラム語の部分（2, 4b-7, 28）が含まれています。また第二正典（＝「続編」）としてギリシア語で伝えられている部分、すなわち「アザルヤの祈りと三童子の歌」（3, 24-90）、「スザンナ」（13）、「ベルと竜」（14）は、第二正典の他の書がセプトゥアギンタ（「七〇人訳」）のギリシア語本文に基づくのに対し、テオドティオンという後2世紀に活躍した人物の訳文に拠っています。さらに「ダニエル書」は、ユダヤ教では「諸書」という分類に属すのに対して、ギリシア語訳およびキリスト教会では預言書の一書とされます。また今回の「スザンナ」の部分は、ヒエロニムスによるブルガータ訳では、上のように第13章に置かれていますが、テオドティオン訳では、本文中にある「とても若い少年」としてのダニエル像に合うように、第1章の前に置かれています。

さて上のテキストには、従属接続詞 cum が3回登場します（①②③）。cum が導く節の中の動詞は、各々① fēcerim (< faciō [不定詞 facere]「行なう」)の接続法完了能動態・1人称単数、② dūcerētur (< dūcō [不定詞 dūcere]「導く」)の接続法未完了過去受動態・3人称単数、③ stāret (< stō [不定詞 stāre]「立つ」)の接続法未完了過去能動態・3人称単数というふうに、いずれも接続法に置かれています。ただしその用法は、①が「譲歩の cum」、②③が「歴史的 cum」と呼ばれるもので、異なっています。「歴史的 cum」は過去の一回的行為を表す用法で、この用法の cum に導かれる従属節に対しては、主節が、過去を表す副時称に置かれねばなりません（② suscitāvit は suscitō「呼び覚ます」[不定詞 suscitāre]の直説法完了能動態・3人称単数；③ ait は不完全動詞 aiōの3人称単数形：歴史的現在形として副時称と見なされる）。したがって従属節の中の動詞は、接続法の未完了過去か過去完了に限られます。

2年間にわたるご愛読、まことにありがとうございました。

(あきやま・まなぶ)